書 評

『脳卒中の再発を防ぐ！知っておきたい Q&A 76』

編集：橋本洋一郎，岡田靖，矢坂正弘，宮本享

（B5 判／ 227 頁／定価 3,500 円＋税／ 2009 年発刊／南山堂）

評者：仲田和正

西伊豆病院院長

一読して臨床に大変役立つ一冊だと思いました．

2009 年時点での脳卒中の最新情報が満載です．

脳卒中ガイドラインを除けば意外にこのような本はありそうでありません．

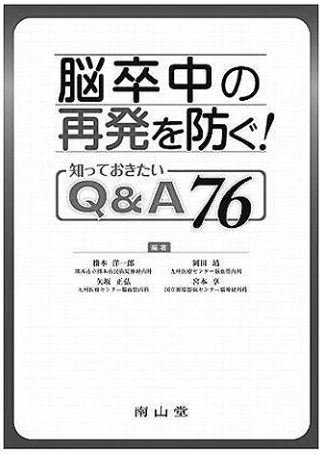
ダラダラ書いてなく項目別に 2，3 ページにしてあるのも助かります．

脳梗塞は，昔は J カーブ現象で血圧を下げすぎるとかえって再発が増えるといわれ私もそう信じておりましたが，PROGRESS 試験（2006）で脳卒中再発には血圧は下げれば下げるほど良いことになったこと，またラクナ梗塞に限っては再発予防効果が大規模試験で証明されたのはシロスタゾール（プレタール®）のみであることなど初めて知りました．

また脳梗塞で浅側頭動脈 - 中大脳動脈吻合術の効果はとっくに否定されたと思っていたのですが，内頸動脈閉塞，73 歳以下，貧困潅流（misery perfusion）なら有効であることがわかり revival してきたことも驚きでした．

飲酒は 1 合以下（ビール 540mL 以下）なら脳出血相対危険度はかえって減少するというのにも，ちょっとホッとして夫婦で喜び合い，今夜でなく来週からはこれ以下にしようと誓いを立てました（これ以上は脳出血，脳梗塞ともに確実にリスクは上がる）．

日頃の投薬も，アスピリンは急性期には 160 から 300mg，2 週間で 75 から 150mg（脳梗塞の長期予防はこの低用量の効果が最も高い）に減量すること，脳塞栓でのワーファリンは，70 歳未満では PT-INR を 2.0 から 3.0 の間に，70 歳以上では PT-INR を 1.6 から 2.6 とすること．



脳梗塞患者は発症後 1 か月位で降圧を開始し 140/90 未満を目標とすること．

糖尿病患者の降圧は ACEi，ARB を優先（糸球体輸出細動脈が拡張し糸球体圧負荷軽減）し，Ca 拮抗薬（糸球体輸入細動脈が拡張し糸球体圧負荷増加）は第一選択にならないことなど外来での留意点もよくまとまっています．

また今まで，MRI 読影で，ラクナ梗塞，血管周囲腔，大脳白室病変の 3 つの区別が本を読んでもどうもよくわからず悩んでいたのですが，なんとこの 3 つの鑑別表が載っていたのには大興奮しました．道端で財布を拾ったような喜びでした．

脳卒中ガイドラインと併せてこの本も読むと理解が増すと思いました．

南山堂／営業部（問い合わせ）
TEL：03-5689-7855

書 評